



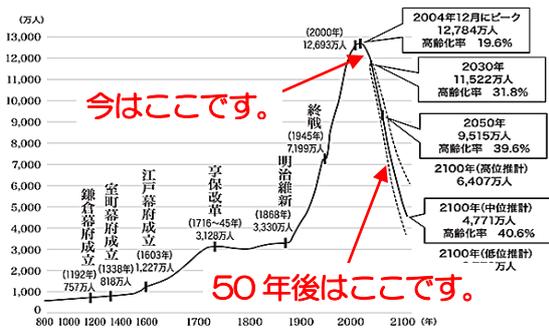
〈第三回〉

人口減少社会と人生百年時代

シリーズ「社会の動向と本県教育を取り巻く現状・課題」
第四期長崎県教育振興基本計画から

この項目に関して、長崎県教育振興基本計画(案)に、次の記載がありました。

日本の人口は、平成二〇年をピークに減少傾向になりましたが、本県では、その約五〇年前から人口減少がはじまり、昭和三五年の一七六万人をピークに、令和五年においては一二七万人まで減少しています。



今はここです。

50年後はここです。

上のグラフは総務省が今後の日本全体の人口を予想したものです。言い方を変えれば、今は「ジェットコースターの下りの最初」です。この現実を正面から受け止めること、左の「人生一〇〇年時代」の記事は、「隠居せずに働きましょう」という願いに感じられます。

長寿社会が進展する人生一〇〇年時代においては子供や若者、社会人、高齢者など年齢を問わず全ての人が主体的に学習機会を得る環境を整え、学習の成果を社会生活や職業生活に活かし、生きがいをもって学び続けることができる社会の実現が求められています。

〈そこで、中学校(本校)では〉

これらの課題に対して、教育振興基本計画には、次のように綴られています。

そのため地域を舞台とした探究学習を通して「自分が社会の役に立って」、「自分の力で社会を変えられる」という経験を積み重ねることで自己肯定感を高めつつ新しいことや困難なことにチャレンジする精神や創造性、行動力を養い、地域の一員としての自覚を育み、ふるさと長崎を支える人材を育成していく必要があります。

先日の新聞報道では南島原市の生産年齢人口が今の二万人から、約二十五年後には七千人になるとありました。生徒たちが働き盛りの頃の事です。そんな時代を生き抜く力や考え方を身につけるために、本校では、具体的に次のことに取り組みたいと考えています。

- ・まずは、「人口急減」の現実を受け止める。
- ・ふるさとの歴史や文化・産業・人・自然をもっと知り、自分の強みや有利(ポイント)にする。
- ・教科授業や行事等をキャリア教育やふるさと学習と連携させ、小学校や高校等での学びと連結させて、未来を力強く歩む力をつける。
- ・労働生産性を高めるアイデアを出し合う。
- ・(今月から、教室に)コードレス掃除機を置きます。
- ・検定試験へのチャレンジを推進する。
(英検・漢検・数検など) リンキングと言われています。
- ・「主体的に学ぶ」という習慣をつくる。
- ・(来年度から)「個人テーマ」に基づく研究を開始

「口之津温泉」

ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から
本校校区内にあるリゾート
「しらはまビーチホテル」の
ホームページに口之津温泉の
記事がありました。



差し込む太陽にキラキラと水面が光る露天風呂、最高!

大浴場や掛け流しの露天風呂、潮騒を聞きながら豊かなお湯の恵みを心ゆくまでゆったりとお楽しみください。

源泉名：口之津温泉しらはま 温泉井

泉質：ナトリウム塩化物泉

適応症：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、疲労回復、病後回復期、健康増進、慢性皮膚病、きりきず、やけど、虚弱児童、婦人病

美しい砂浜のすぐとなりの温泉でロケーションは最高! 効能はもう何でも効きます! という感じですよ。口之津って、やっぱりすごいなあと感じています。

【お知らせ：卒業式について】

本年度から、マスクに関する
お願いなどはありません。卒業生は
「入退場」と「ステージに上がる時」
にマスクを外す以外は、生徒も自己判断です。
それから、本年度からタイツや靴下の色を、
生徒総会等の手続きを経て、黒や紺色でも良いと
しておりますことをお知らせします。

